



大雨に台風、荒れ模様の日本列島ですが被害はなかったですか？

こちらも台風でまた宮島が冠水したり、岩国の錦帯橋が壊れたり...

でも、以前のように大きな被害がなくて幸いでした。台風と共に漸く秋の気配が感じられるようになりました。これからが良い季節ですよ。今回もうさおさんからたくさん投句いただきました。

妻一人犬一匹の宵祭

俳句は読み手に想像させる...というものひとつの手なのです。ふたりといっぴきとする事で、どんな二人なのか一匹って犬なのか猫なのか、そんな空想をひろげます。

ふたりたすいっぴき宵の祭かな

今日がその祭だったか夕かがり

面白いと思います。少しだけ俳句っぽくするのなら

* 今日がその祭と知るや夕篝

幼き日祭提灯の寂しけり

中七が字余りになっているので、

* 遠き日の祭提灯寂しけり

目を閉じて肩で息する夏の犬

このままでも良い句です。夏の犬の姿が見えてきます。

目を閉じては省いてもいいかも。

* 炎天に愛犬の肩波打ちぬ

目に痛いカンナの花の黄橙々

原句で充分良いと思います、動詞が2つになるのであまり良い添削ではありませんがカンナの花は炎のように見えるので...

* 目に痛いほどにカンナの花燃ゆる

無聊ゆえ感慨もなし夏休み

無聊ゆえ...というと少し硬くなります。感慨もなし、と言い切らずに...何となく過ごしてしまった夏休みを読み手に解ってもらいます。

* 今朝もまた手持ち無沙汰の夏休み

犬がいるゆえに遠出の出来ぬ夏

犬や猫がいると確かに旅行は無理ですよ。希望的な句にしましょう。

* 愛犬と遠出をしたし夏休み

赤犬の毛の色揺れて夏茹だる



ゆうこ



これでは句意がちがうかな...夏茹だるという表現が面白くもあるのですが。

* 赤犬の身軽に見えて夏毛かな

客先は一足早くクールビズ

客先というのが少しわかりづらいです。クールビズを上を持ってきて、解りやすく。

* クールビズ訪問先はいち早く

野分去りせわしく落つる蝉時雨

せわしく落つるっていうのはちょっと無理があると思うので素直に...

* 野分後はせわしさの増し蝉時雨

炎天は御免蒙る出先なり

これはこのままでいいですね、すごく気持ちがあらわれている面白い句になっています。

うさおさん、たくさんの投句ありがとうございました。

うさおさんの句は素直な写生句で、俳句では一番大切な基本です。たくさん詠んでいるうちに、もっともっと上達されると思います。ぜひ、続けて下さいね。

先日、市川海老蔵を観に行ってきました。

海老蔵を襲名してからのこの人の活躍には目をみはるものがあります。父親の団十郎が病気の為、代役で「祭」を踊りましたが本当に花のある役者さんです。

宮尾登美子にかぶれてしまって、「きのね」での十一代団十郎に興味をもっているのが海老蔵を見ていると現団十郎よりもお祖父さんである十一代に似ているように思えて仕方ありません。顔も声も姿も芸も...実は来年の伯母の追悼公演で私も母の代役をしなくてはいけないかも。自分の出し物だけでも手一杯なのに。まだまだ先の事だけど、今から憂鬱になっています。

せめて海老蔵の半分でもりっぱに踊れるといいのですが。

荒事の役者の病月の雨

いわしくも内弁慶の猫と居る ゆうこ

次回も特に季題はもうけませんので、むずかしく考えないで一句作ってみませんか？ 投句お待ちしております。